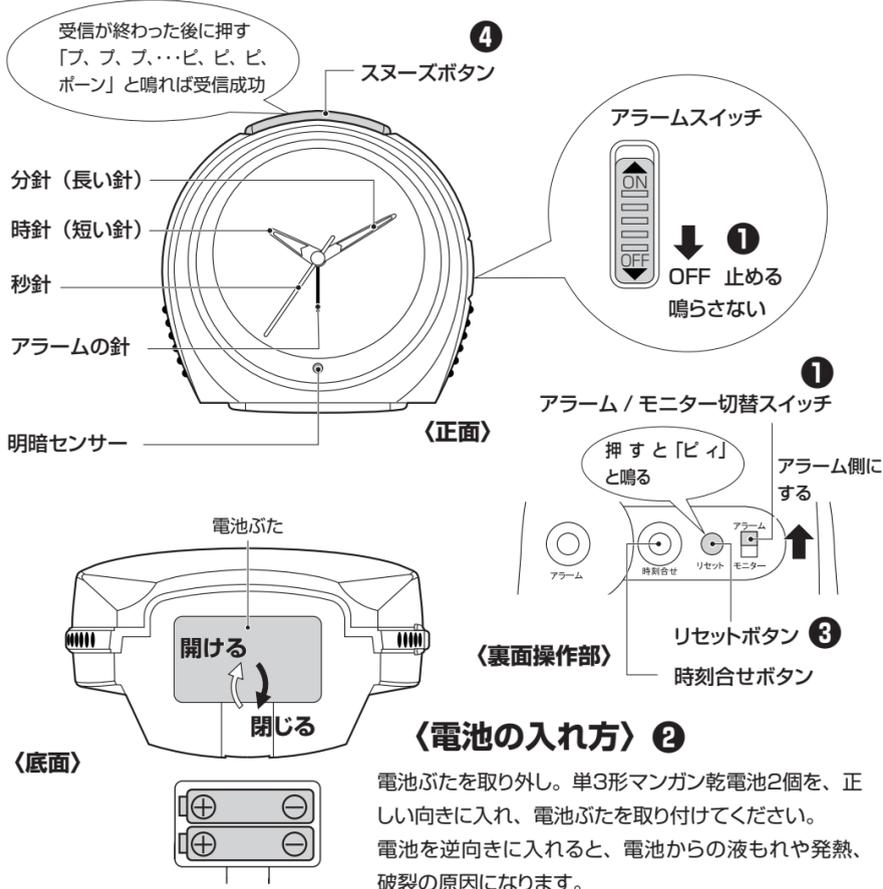


1. 時刻の合わせ方 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



電池の交換

注意 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換してください。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。1～2日後に受信結果を確認してください。
- 場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くような所を選び、リセットボタンを押してください。
設置場所を決める前に、裏面の「電波時計について」をお読みください。
- 時刻合わせをして使用する
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。

受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

手動で時刻を合わせるときは、**電波を受信できない場合**の「手動時刻合わせ」を参照してください。

◎電波を受信しやすい窓際などでご使用ください。

- 1 アラームスイッチをOFF、アラーム / モニター切替スイッチを「アラーム」にする
受信結果を確認するため、必ず指定の位置にしてください。
 - 2 電池を入れる（電池の入れ方）参照
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて指定の電池を入れます。
 - 3 電池を入れた直後に必ずリセットボタンを押す
受信状態になり、15分以内に受信を終了して針が時刻を指します。
※受信中は、ボタン類を操作しないでください。
※受信中は、針が停止しますが故障ではありません。
 - 4 スヌーズボタンを押して受信結果を確認する
針が動き出し時刻を示したら、明るいところでスヌーズボタンを押します。
受信に成功すると「ブ、ブ、ブ…ピ、ピ、ピ、ポーン」と鳴ります。（電波受信確認機能）
鳴らない場合は受信に失敗しています。→ **電波を受信できない場合** 参照。
 - 明暗センサーにより暗い場所では確認音が鳴らないしくみになっています。
 - 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。リセットボタンを押して再度受信させてください。
 - 受信に失敗した場合の時刻表示は正しくありません。
- 電波受信確認機能 24時間以内に受信に成功していると確認音を鳴らす
受信に成功しているときに、スヌーズボタンを押すと受信確認音が鳴ります。
「ブ、ブ、ブ…ピ、ピ、ピ、ポーン」の「ポーン」は0、10、20、30、40、50秒に鳴ります。
●スヌーズ状態のときや暗いところでは受信確認音は鳴りません。

こんなときには

- ◎ 針が反時計回りに動いたり、早送りで針が動いたままになる。
- ▲ 電池の残量が少なくなると、誤作動の原因になります。特にリセットボタンを押したときや自動受信したときに発生しやすくなります。指定の新しい電池にすべて交換してください。

明暗センサー 暗くなると眠る秒針

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止します。明るくなると現在時刻の秒位置に早送りで移動します。時計周囲の明るさに反応しますので、昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足すると反応します。

手動時刻合わせ

時刻合せボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。手動で時刻合わせをするとクォーツ精度になります。
※時刻合せボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。
※手動で時刻合わせをしても、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。
時刻合せボタンを押すと針が動き始めます。

- 時刻合せボタンを押して、すぐに離した場合は1分進みます。
- 時刻合せボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。秒針は、ボタンを押し続けているときに12時位置になると止まります。

秒針の動きについて
時刻合せボタンを離したとき、ゼロ秒になります。ボタンを離したとき、秒針が12時位置にないときには、早送りで移動します。

2. アラームの使い方

〈アラーム時刻の合わせ方〉1



1 アラーム時刻の合わせ方

アラームつまみを必ず矢印方向に回し、アラームを鳴らす時刻に合わせてください。
※アラーム時刻は10分ごとにセットできます。
※アラームつまみを逆に回すと、アラーム精度が悪くなる場合があります。

2 アラームを設定時刻に鳴らす

アラーム / モニター切替スイッチを「アラーム」側にし、アラームスイッチをONの位置にしてください。
アラームを使用しないとき、または鳴っているアラームを止めるにはOFFにしてください。
※アラームスイッチがONのままでは、毎日午前と午後の2回アラームが鳴ります。

■スヌーズ機能（アラーム音を一時的に止める）

アラームが鳴っているときにスヌーズボタンを押すと、約5分間アラーム音が停止し、その後また鳴り出します。この機能は、アラーム設定時刻から20～50分間繰り返し使えます。アラーム音を完全に止めるにはアラームスイッチを「OFF」にします。

■アラームオートストップ（アラーム音自動停止）

鳴っているアラームをそのまま放置すると約5分間鳴り続けて自動的に止まります。アラームスイッチは「ON」のままですので、使用しないときは「OFF」にしてください。

■アラーム音の試聴（アラーム音モニター）

アラーム / モニター切替スイッチを「モニター」側にし、アラームスイッチをONにするとアラームが鳴ります。OFFにすると止まります。
※試聴後はアラーム / モニター切替スイッチを「アラーム」側にしてください。

蓄光性夜光塗料「ナチュライト」について

- 当社では、従来の蓄光に比べ長い時間発光するものを「ナチュライト」と称しています。
- ナチュライトは紫外線を含んだ光（例 蛍光灯）により励起され、光を蓄え、発光します。白熱電球などは紫外線が少ないため光源としては適していません。
- 蓄光性夜光塗料の特徴として、消灯直後は明るく発行しますが時間の経過とともに明るさが低下します。
- 60ワット以上の蛍光灯の光を1.5m以内で30分以上文字板面に直接光りを当てた場合、およそ8時間お手元で発光が確認できます。明るさや受光時間が不足すると、短い時間で発光が弱くなり、判読できなくなります。
- 目視による確認は、視力などの個人差、周囲の明るさ、時計との距離などにより影響を受けます。
- 明るいところから暗いところに入った場合、目が暗さに慣れるまでは、見えにくくなります。

トラブル? アラームが鳴らない?

- アラームつまみを回して、現在時刻に合わせてたがアラームが鳴らない。
 - 時刻合せボタンを操作してアラーム時刻に合わせてたがアラームが鳴らない。
- このようなときは、アラームスイッチを一度「OFF」にしてから「ON」にするとアラームが鳴り出します。
アラームつまみや時刻合せボタンを操作してアラーム音を試聴するときには、アラームスイッチを「OFF」にしてから操作し、その後にアラームスイッチを「ON」にするとアラームが鳴り出します。